

愛犬ボディランゲージ解析
実践編

Canine

Body language

Analysis

technique

何故ボディーランゲージが必要なのか

犬の大きさは他の肉食獣に比べて小さい

狩りの成功率が低い・子孫を守れない

集団で行動することが生存に有利だった

個で生きた者は子孫を残せなかった

集団行動のためにはコミュニケーションが必要

協調する事が生存戦略になった

コミュニケーション能力が進化し生存した

協調性の高さが進化した

ボディーランゲージの読み方

ボディーランゲージをどうやって読むか

- ・ 表情：目、耳、口元、額など
- ・ 仕草：姿勢、動き、体勢など
- ・ 文脈：行動が起こるまでの流れと結果

争いを避けるための仕草 -なだめ行動- (カーミングシグナル)

Turid Rugaas

トゥーリッド・ルーガス

ドッグトレーナー・ドッグビヘイビアリスト

**1980年代から研究を始め、
1996年に初版が発表された。
(日本語訳は2009年)**



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

オオカミは基本的に争いを避ける動物であり、群れの仲間達をなだめる時に使うカットオフシグナルという行動が既に確認されているが、犬もその行動を受け継いでいる。さらにカットオフシグナルのカットオフ(Cut-off)とはその名の通り、現在行っている行動を止めさせる行動であり、その他のシグナルには自他の落ち着きを促したり、遊びに誘ったりする意味がある。

Turid Rugaas・カーミングシグナルより引用

争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

顔の向きを変える

意味：「落ち着いてほしい」 / 「不快だ」

行動：顔全体を相手から背ける、顔を少しだけ相手から背ける。

相手が無作法に近づいてきた時や、ヒトがかがんで犬の顔に近づいたりしたときなどに見せる。逆に犬が不安がっていたり怖がっていたりする時にヒトも顔の向きを変えることで使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

目を反らす

意味：「敵意はないよ」

行動：相手との視線を左右に反らす。

顔の向きを変えるに似た意味をもつ。相手に余計なプレッシャーを与えないように視線を左右に動かし、相手の目を直視しないようにしている。同様にヒトも使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

身体の向きを変える

意味：「少し落ち着こう」

行動：相手に対して身体を横や後ろに向ける。

相手を落ち着かせたり、興奮を煽らないようにするのにとても効果的。遊びの途中でもヒートアップすると身体の向きを変えて相手に対して落ち着きを促す。出会い相対する犬が興奮気味の時にも行う。同様にヒトも使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

鼻を舐める

意味：「落ち着いて」 / 「ちょっと不快だ」

行動：素早くペロッと舌をだして鼻を舐める。

動作が一瞬なので見落としやすい。強い命令口調で号令した時や、興奮気味の犬が近づいて来る時に見せることがある。相手に対して落ち着きを促す。ヒトは真似が難しい。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

遊びの姿勢(プレイ・バウ)

意味：「あそぼうよ！」/「安心してね」

行動：お辞儀をするように両方の前脚を下げて地面に付けて後ろ脚は立ったままの姿勢。

前脚を下げて左右に前脚を動かしている時は遊びに誘っている。プレイ・バウの体勢で固まっている時は相手の出方が解らないものの、慎重に遊びに誘っている。同様にヒトも使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

座る

意味：「不安」/「落ち着いて」

行動：何かの反応としてその場で座る。

相手が興奮気味だったり警戒心を持ちながら接近してきた時に取る行動。強い命令口調で号令した際にも見せる事がある。不安の気持ちの表現で相手に対して落ち着きを促す。同様にヒトも使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

伏せる

意味：「落ち着こうよ」/「怖がらなくていいよ」

行動：お腹を地面に付けて伏せる。スフィンクスのような体勢。

カーミングシグナルとしてメッセージ性が強い。遊びが盛り上がりすぎて不快に感じた時に相手に対して落ち着きを促す。また怖がりな犬が近くにいて、こちらに近づくか否や決めかねている様子の時に伏せて相手に対して不安を与えないようにする。同様にヒトも使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

あくび

意味：「不快ストレスを感じている」/
他者に対しては「リラックスしようよ」

行動：あくびをする。

自分が嫌な環境に置かれた時（病院の診察台に上がった時や無理やり抱きかかえようとした時など）に見せる。自身を落ち着かせるために行う。また相手が不快なストレス下にある時にリラックスを促したい時にも見せる。同様にヒトも使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

カーブする、またはカーブを描いて歩く

意味：「怖がないで」

動作：相手に近づくときの歩く軌道をカーブ状にする。

これは犬の世界では礼儀的な行動で、相手に近づく際のマナー。逆に正面から近づくのは挑戦的な行動の表れ（よほど仲の良い相手の場合は除く）。相手を落ち着かせ、怖がらせないようにする。同様に怖がっている犬や怯え気味の犬に対してヒトも使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

固まる

意味：「自分は怖い相手ではないよ」

行動：フリーズする。その場で動きを止める。

犬に全身の匂いを嗅がれている時や、強い命令口調で号令した時に見せる。座っていても立ったままでも、伏せていても行う。その場で固まって相手を落ち着かせようとする。同様にヒトも使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

ゆっくりと歩く、ゆっくりとした動き
意味：「怖がらなくていいよ」/「落ち着いて」
行動：動作がゆっくりになる。

相手の犬に近づくときに相手を刺激しないように動作を遅くする。反対に速い動作は相手の興奮や警戒心を煽る。強い命令口調で号令を掛けた時にも見せる事がある。同様にヒトも使える。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

間に割ってはいる

意味：「止め！」/「落ち着こうよ」

行動：複数の犬同士の間に入ったり、複数のヒトの間に入る。

犬同士の遊びがエスカレートして緊張気味になったと感じた時に諫める事で争い事をさけるようにする行動。複数の犬やヒトがいるときに見せる行為でヒトに対しても行うことがある。愛犬が子供にしつこくされて緊張気味になったときにヒトが間に入ることで使うことができる。



争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

尾尻を振る

意味：「怒らないで」/広義的には「興奮している」

行動：地面に這いつくばるような体勢で尿を漏らしながら近づく / 広義的には様々な姿勢で尾尻を左右に振る。

カーミングシグナルとしての尾尻の振りとしては相手に対して降参を意味します。あなたがいつもキツく叱っていたりしていると怒られる前兆をとらえた時に見せる行動。広義的な意味では興奮のサイン。



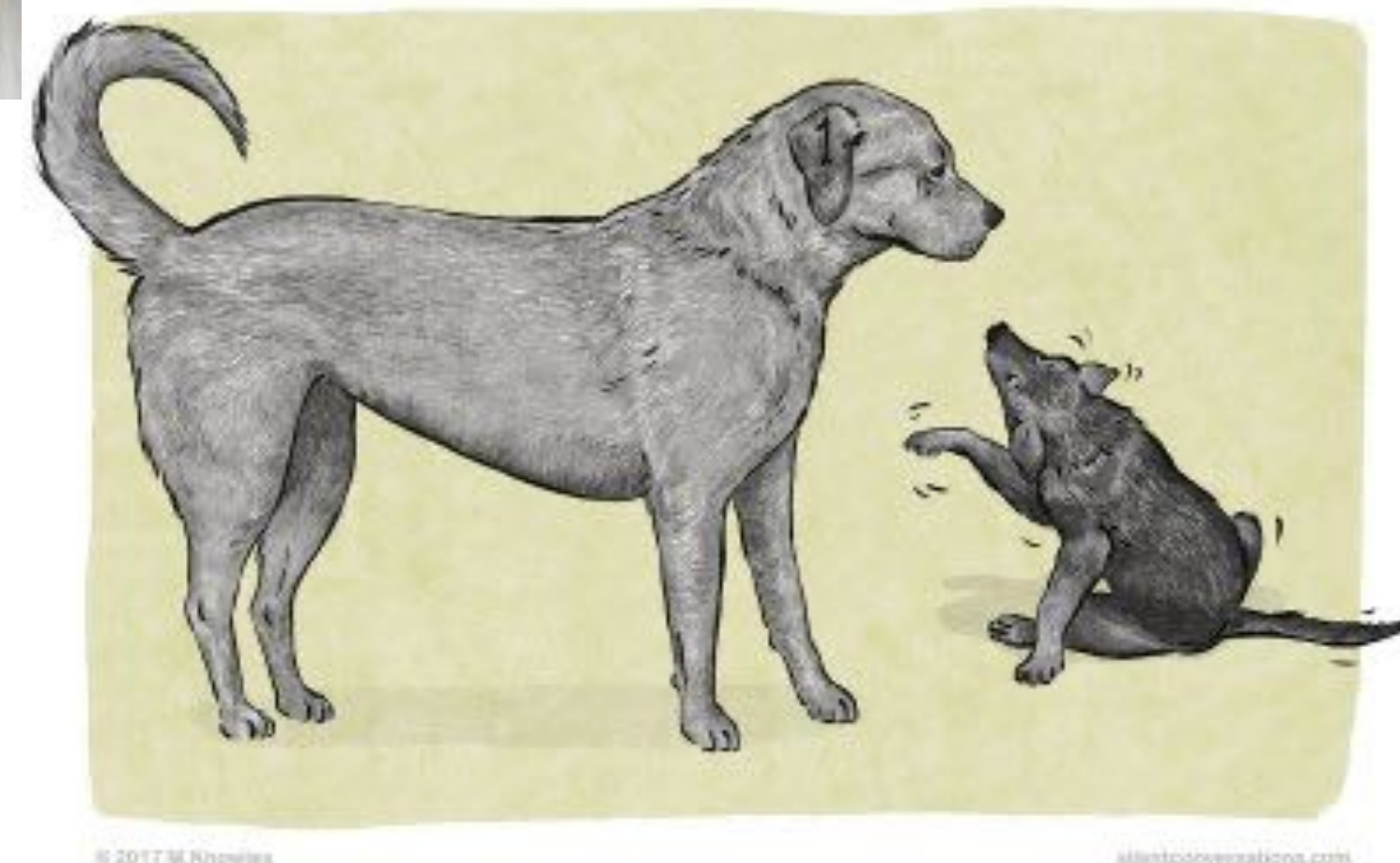
争いを避けるための仕草 (カーミングシグナル)

仔犬のように振る舞う

意味：「私は怖い存在でないよ」 / 「落ち着いて」

行動：顔を舐める、口を舐める、まばたきをする、片方の前脚を上げる。

仔犬が自分には脅威はないから優しくして欲しい時に取る行動で成犬でも行う。相手に近づける時には顔や口元を舐める。接近が難しい場合では片脚を上げる。ちょっとした動いたら襲われそうな時はまばたきをして相手にメッセージを伝える。同様にヒトも使える。



犬のボディーランゲージ

遊びに誘う姿勢

Playfulness

尾の先が上がる

尾を大きく振ることがある

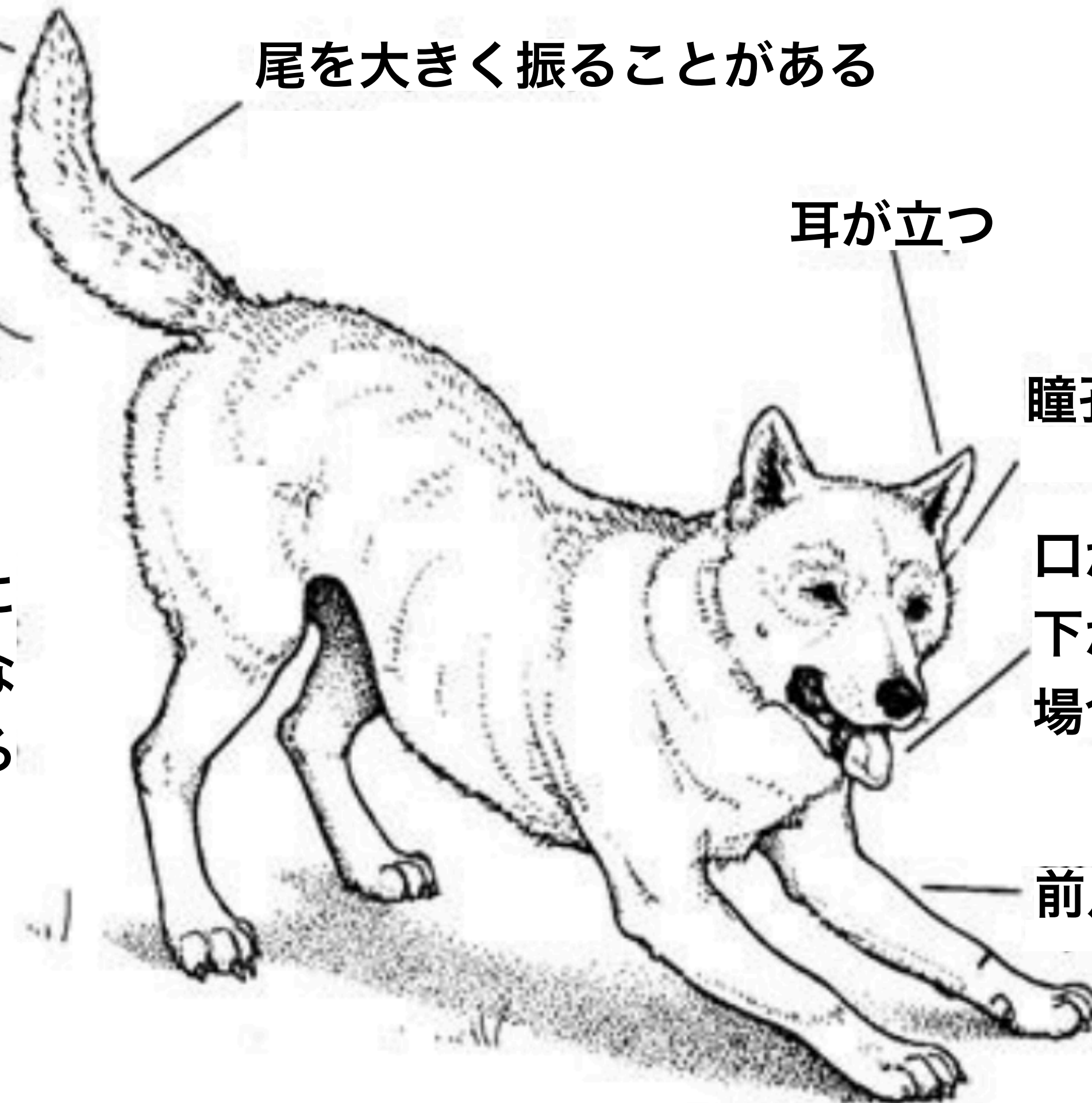
耳が立つ

瞳孔が開く

口が軽く開く、
下が露出する
場合がある

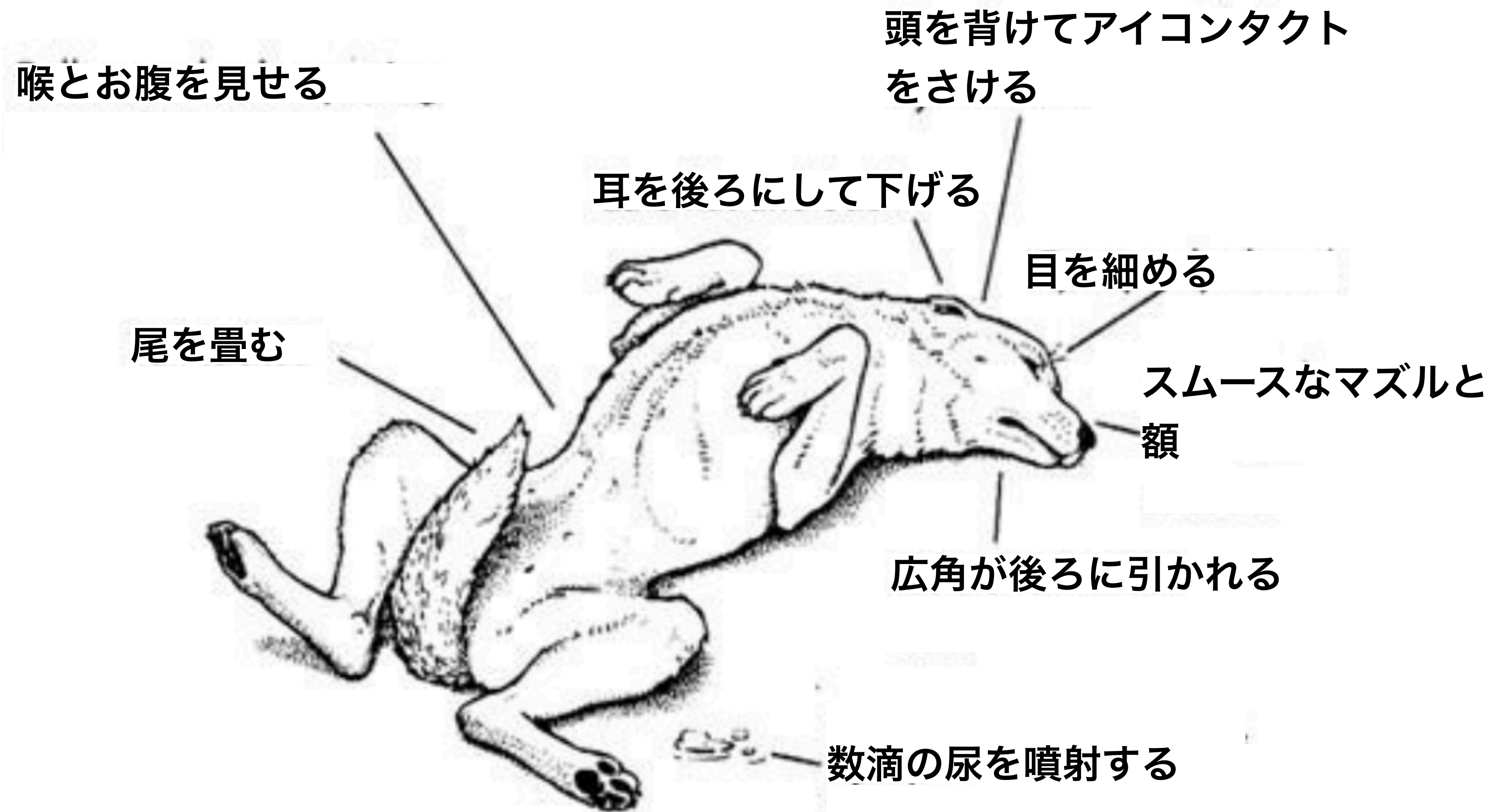
前足だけを下げる

遊びに誘い、
走り出す前に
この姿勢にな
ることがある



犬のボディーランゲージ

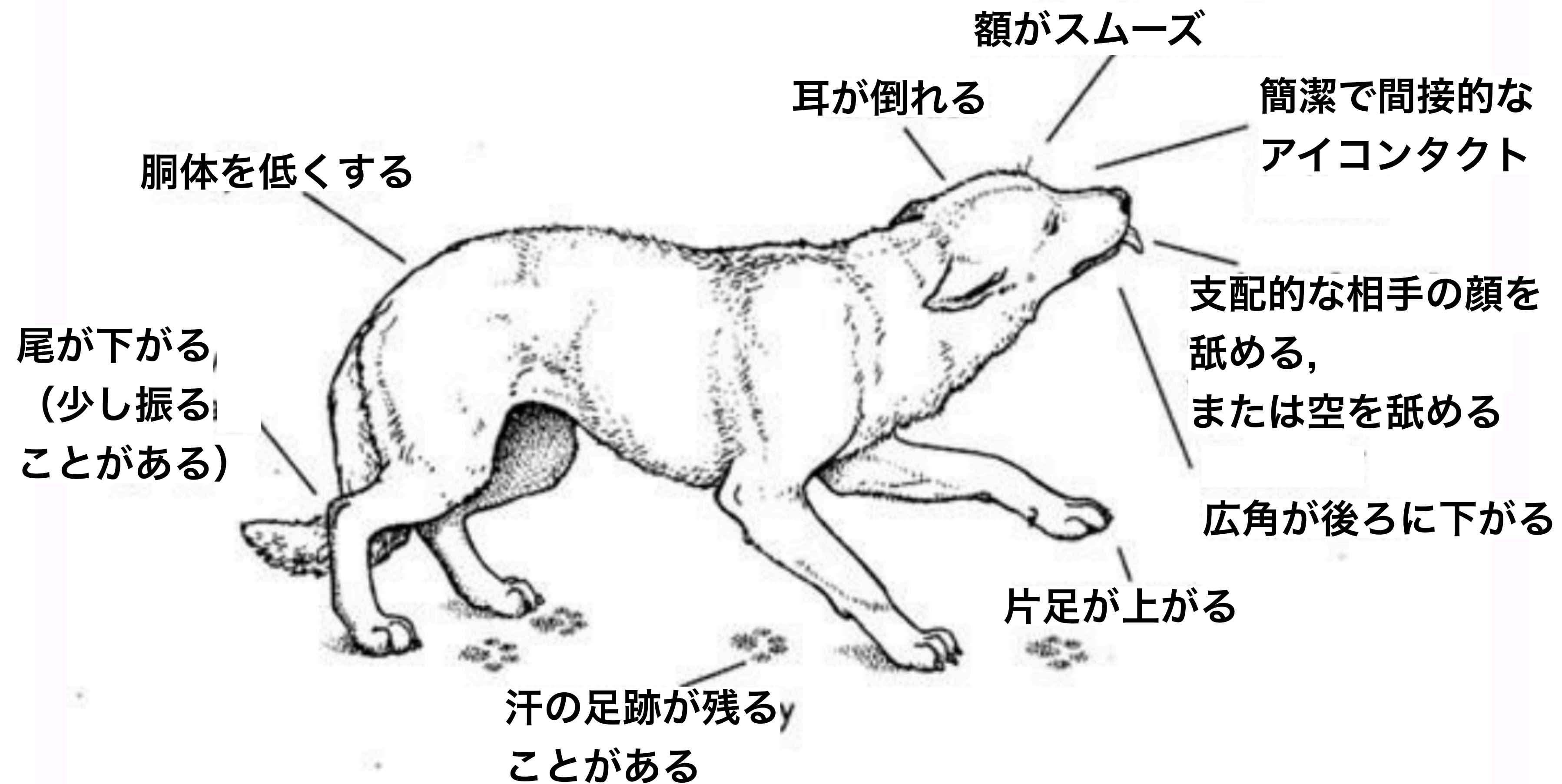
極限の恐怖/完全服従(受動的服従)
Extreme fear / Total submission
(Passive submission)



犬のボディーランゲージ

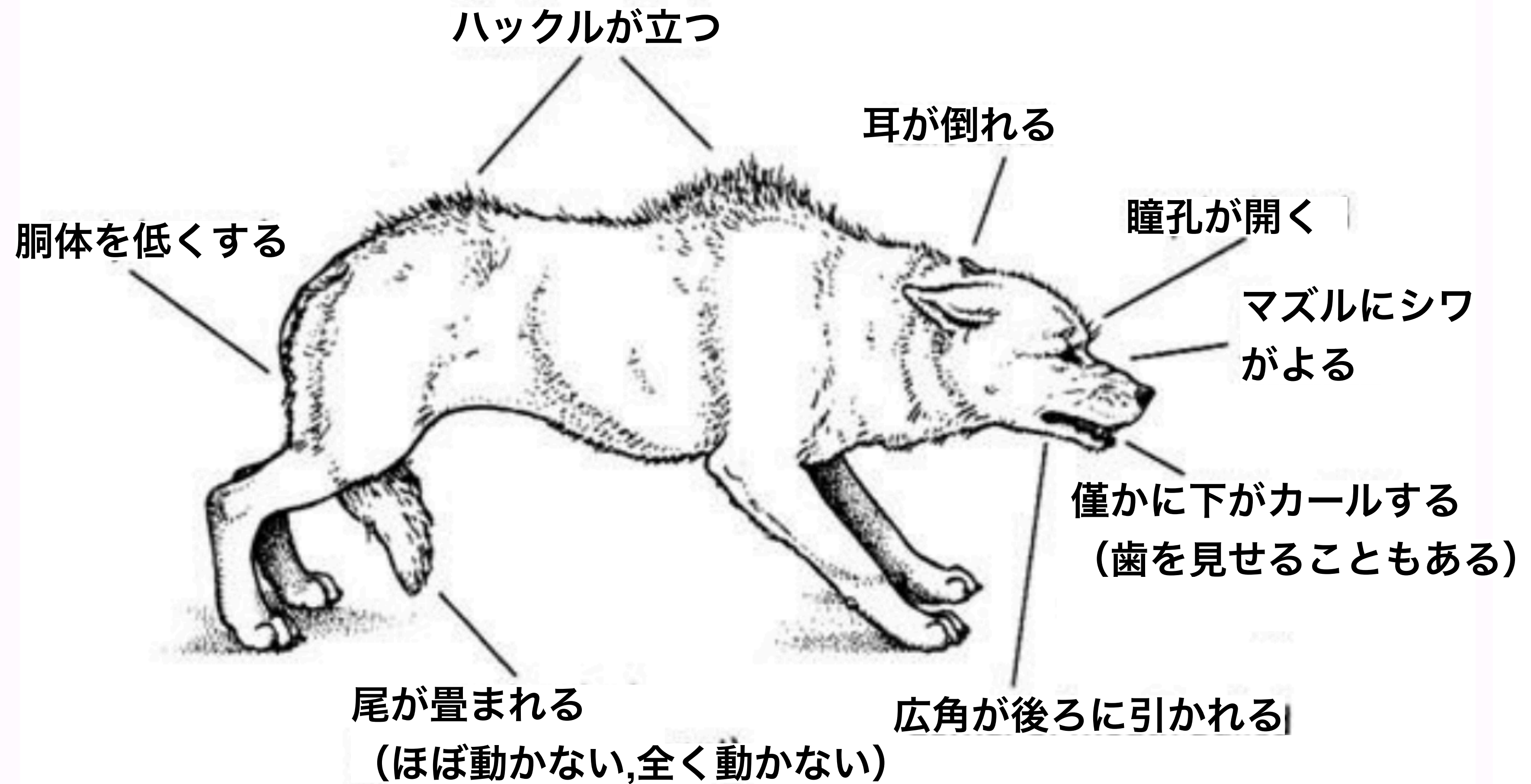
恐れ/服従(積極的服従・降伏)

Fear / Submission
(Active submission)



犬のボディーランゲージ

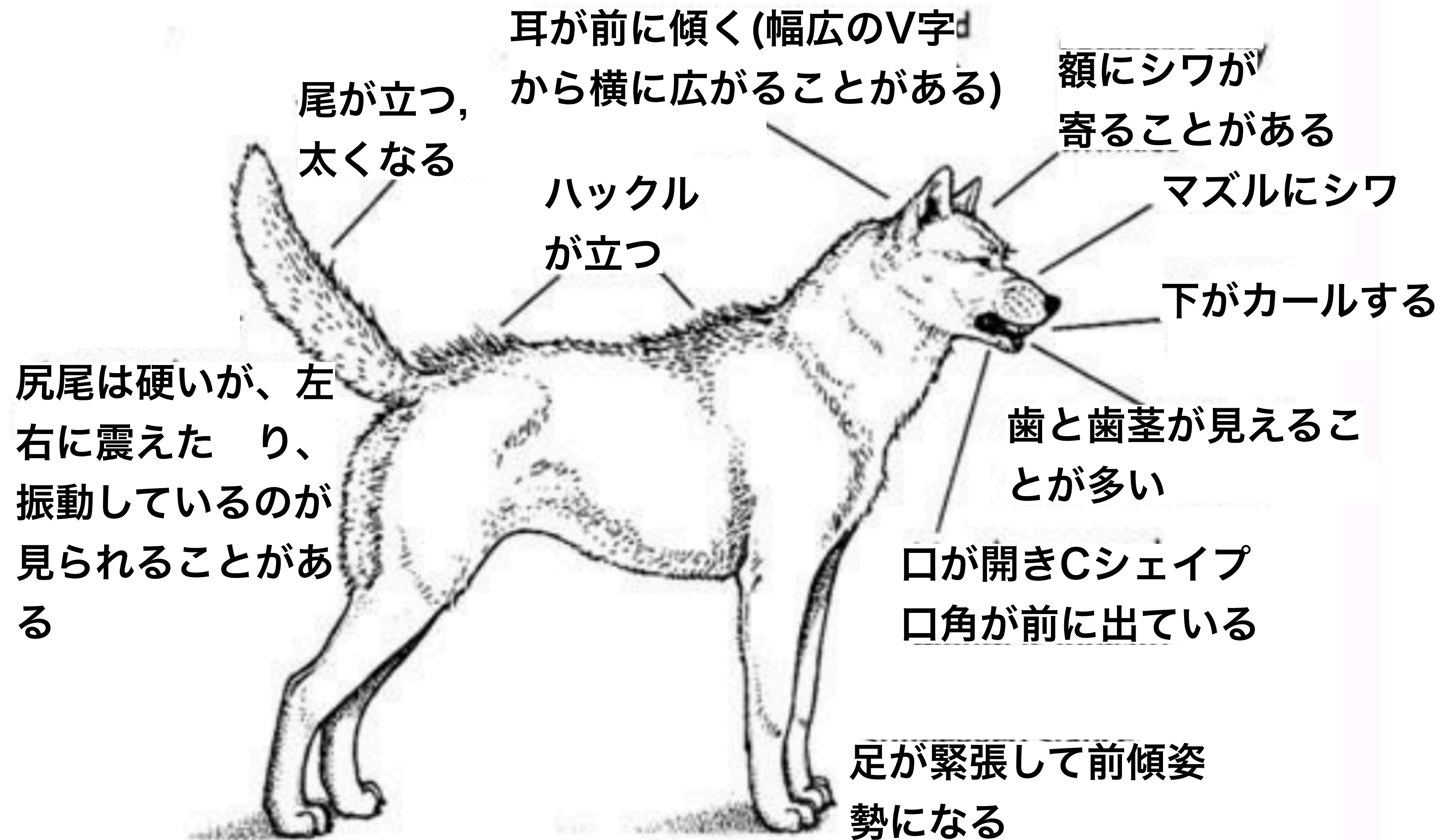
恐れ/攻撃性(防御的脅威)
Fear / Aggression
(Defensive threat)



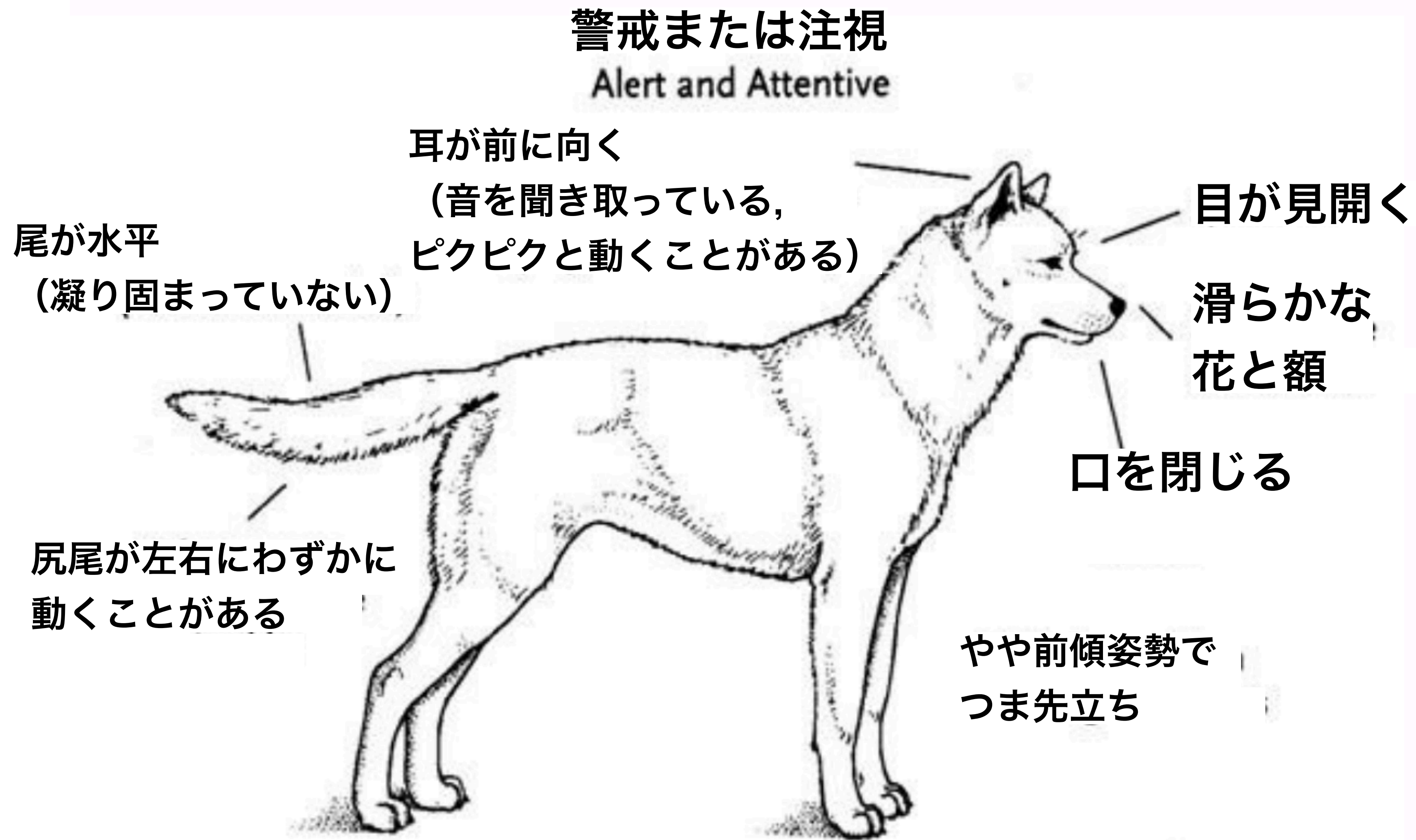
犬のボディーランゲージ

優位性/攻撃性(攻撃的脅威)

Dominance / Aggression
(Offensive threat)



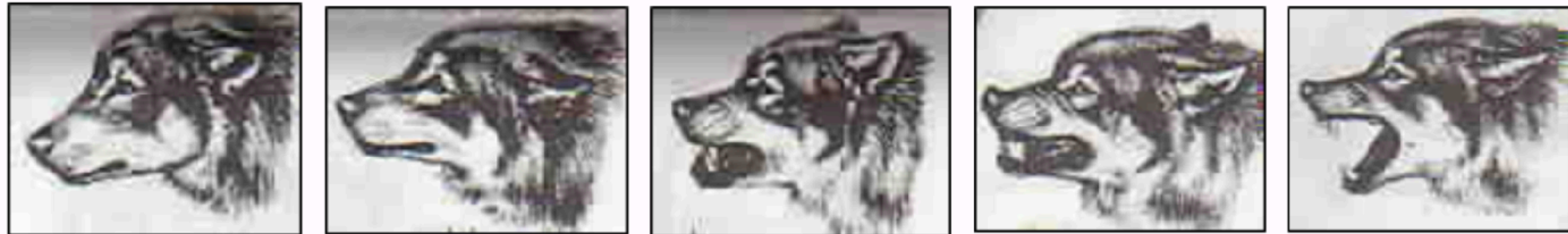
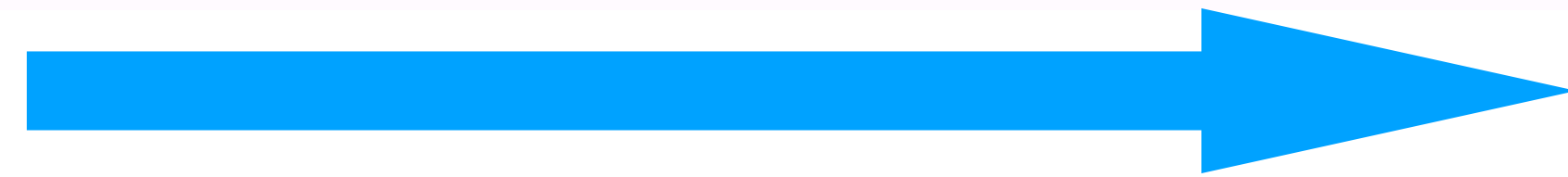
犬のボディーランゲージ



犬のボディーランゲージ



Increase aggression



Increase fear

